

(3) 宮古・八重山圏域

①最近の出水及び被害状況

宮古・八重山圏域は、八重山圏域のみ県管理の二級河川があります。与那国町の田原川は、平成30年度から新規事業として、河川整備に取り組んでいます。

過去の主な浸水被害

水系名	河川名	災害年月	災害原因	浸水被害 (戸)	最大1時間 降水量(mm)	市町村	整備状況	完了年度
石垣新川	石垣新川	平成7年10月	豪雨	1	38.0	石垣市	整備済み	平成29年
田原川	田原川	平成20年9月	台風	53	110.0	与那国町	未整備	
		平成27年4月	豪雨	0	101.5	与那国町	未整備	—
		令和元年5月	豪雨	27	102.5	与那国町	整備中	—

・田原川氾濫（被災）状況



②水害対策等の課題

- ・ 八重山圏域の河川については、これまでの整備により、浸水被害が軽減していますが、局所的な豪雨等による被害が発生しています。
- ・ 田原川については、現況流下能力が不足しており、台風・豪雨時に家屋浸水や道路冠水等の被害が生じていることから、整備を推進する必要があります。

③水害対策等の当面の進め方

- ・ 自然環境豊かな八重山圏域の河川については、環境の保全と復元に十分配慮しつつ浸水被害対策を引き続き推進します。
- ・ 田原川については、平成 30 年度より河川改修事業に取り組んでおり、多自然川づくりによる河川改修を進めていきます。
- ・ 浚渫が必要な河川については、緊急浚渫推進事業債等を活用し、浸水被害の軽減に向け、適切な維持管理に努めます。

ソフト対策

- ・ 八重山管内での河川の氾濫や崖崩れ等が起こることを想定し、想定最大規模の降雨の際、浸水被害がどの範囲まで広がるかを示す「洪水浸水想定区域図」の作成を進めていきます。
- ・ 市町村が洪水時の円滑かつ迅速な避難を行うため作成する「水害ハザードマップ」の基礎情報として、「洪水浸水想定区域図」を情報提供していきます。
- ・ 土砂災害からの警戒避難のため「土砂災害警戒区域」及び「土砂災害特別警戒区域」の指定を進めるとともに、2 巡目の基礎調査を実施しています。

【令和 7 年 9 月末時点】

土砂災害警戒区域：38 区域指定済み

土砂災害特別警戒区域：26 区域指定済み

宮古・八重山圏域の多自然川づくりの事例

石垣新川川（石垣市大川付近）

改修前

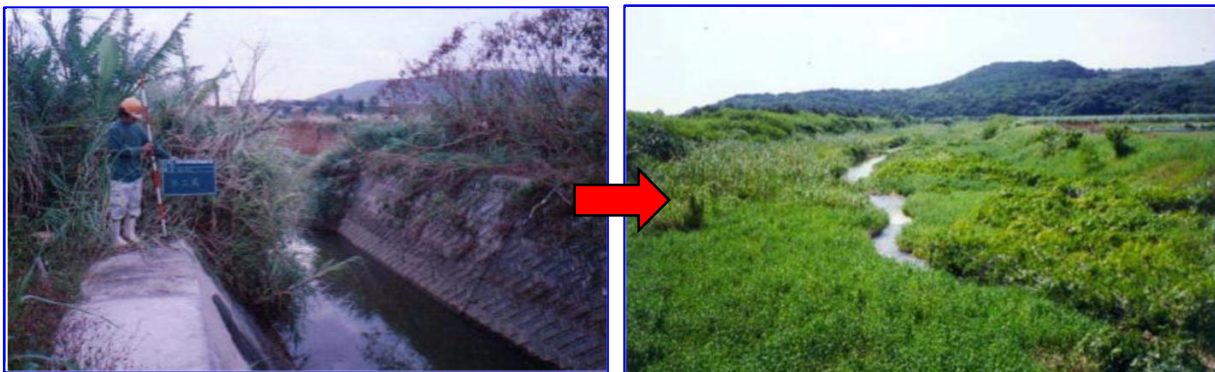
改修後



名蔵川 （石垣市名蔵付近）

改修前

改修後



④主要事業

圏域内の主要事業について示します。

- ・ 田原川河川改修事業

総合流域防災事業（^{たばる}田原川水系^{たばる}田原川）

沖縄県^{よなぐに}与那国町

1. 事業概要

田原川は、流域面積7.1km²、流路延長1.3kmの2級河川である。近年では、平成20年、令和元年等の台風や豪雨時において、床上・床下の浸水被害が発生している。そのため、総合流域防災事業により、早期に浸水被害の軽減を図り、治水安全度を向上させるとともに、環境に配慮した多自然川づくりを実施する。

2. 事業期間および事業費

事業期間：平成30年度～令和9年度

全体事業費：1,900百万円

進捗率（令和6年度末、事業費ベース）4.5%

令和6年度当初

事業費 35.0百万円

令和7年度当初

事業費 39.0百万円

3. 令和7年度の事業概要

設計業務（水門） 一式

田原川河川改修計画位置図

